

レビー小体型認知症（DLB）診断における脳波検査の役割と医療経済効果について

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	レビー小体型認知症（DLB）診断における脳波検査の役割と医療経済効果について
倫理審査 受付番号	第3592号
研究期間	2020年 8月倫理審査承認日～2025年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に本院の脳神経内科、精神科神経科、認知症疾患医療センターおよび臨床検査部生理検査室で受診された、レビー小体型認知症（DLB）およびアルツハイマー型認知症（AD）の方 2013年 3月 1日～2021年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報

研究概要	（研究目的、意義） DLB患者さんの脳波検査結果と核医学検査結果の関係性を検討し、脳波のDLBにおけるファーストスクリーニング検査としての立場を確立し、それにより、医療経済的にも大きな利点となることを証明すること。 （研究の方法） DLB患者さんの脳波検査結果をAD患者さんのものと比較検討します。また、DLB患者さんにおいて核医学検査を行っている場合はその結果（DATスキャンの判定量的指標値やMIBG心筋シンチグラフィの心縦隔比など）と脳波の結果（主に周波数）を比較検討します。 （個人情報の取り扱い） 収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計学的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学病院 臨床検査科 小柴 賢洋（研究責任者） TEL （平日 9：00～17：00） 0798-45-6877